

ブロッコリー・スイートコーンなど露地野菜産地への変貌

ふかやし
【埼玉県深谷市】

体制・人材
づくり
栽培作物
・方法
加工・出荷
販売

【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機に、スイートコーンやブロッコリーなどを導入し、**養蚕から露地野菜の産地へ変貌**。地域協議会が中心となり、生産技術の向上や地域貢献にも取り組む。
- **品種や作型を組み合わせた土地利用体系を確立**し、高品質な野菜を計画的に出荷することで**市場の評価を高め、JA榛沢ブランドを定着**。

基盤

畑地かんがい施設の整備により露地野菜へ転換

- 国営かんがい排水事業により安定した水が届くようになったことを契機に、県営基盤整備事業により桑園を抜根整地し、区画整理、畑地かんがい施設等を整備。
- 基盤整備の結果、自由な水利用が可能となり、**露地野菜の導入**が進んだほか、**営農作業の効率化や生産物の品質向上、収量増加**に結び付くなど、収益性の向上に寄与。



基盤整備
(S41年～H4年)

【整備前】

昭和40年代まで中心であった養蚕業は生糸の価格低迷により撤退が進んでいたが、用排水路や農道、畑地かんがい施設などの生産基盤が未整備であったため、収益性の高い野菜等の代替作物の導入が困難であり、**未利用桑園が増加**。



荒廃農地の様子

【取組地域の概要】

- 位置 ふかやし
埼玉県深谷市



- 主要作物
 - ・ブロッコリー
 - ・スイートコーン
- 主な支援施策
 - ・県営ほ場整備事業「荒川中部一次地区」(S41～H4)
 - ・国営かんがい排水事業(S34～41)
 - ・国営かんがい排水事業(H26～)
 - ・県営かんがい排水事業「荒川中部右幹線、荒川中部左幹線地区」(H26～)

生産現場

より高品質な作物栽培への取組



- **地域協議会が中心となり、スイートコーンやブロッコリーを導入**。出荷規格の徹底など品質向上に向けた取組も実践。
- **品種・作型を組み合わせた出荷期間の延長**による安定的な出荷を通じ、高い市場評価を得るなど**ブランド化を推進**。
- スイートコーンは、フルーツを超えた糖度を誇る**新品種「味来」を導入**し高評価を得ている。

加工・流通

流通体制の構築による販路拡大



- **朝採り出荷**や、予冷库・鮮度保持フィルムの導入によって鮮度を保持し、**高品質の農産物を市場に出荷**。
- CMや店頭キャンペーン等により直売所等での販売を拡大。

露地野菜の導入と地域ブランド化による販売額の増加

- スイートコーンやブロッコリーといった**露地野菜の生産を拡大**するとともに、高品質かつ安定的な出荷に向けた取組により、**市場から高い評価を得るなどブランド化を推進**。単価も向上しており、**地域全体の販売額も増加**している。



【例：ブロッコリー単価】
279円/kg(S61) → **372円/kg(H27)**

【JA榛沢における野菜の販売額】

